



The Japanese School of Melbourne

メルボルン日本人学校だより

令和8年度

8月号

R8. 8. 13

めざす子ども像 *進んで学ぶ子 *心豊かで思いやりのある子 *たくましい子、やりぬく子

朝晩の寒さはまだ続っていますが、ゲート横のワトルトゥリーに黄色い花が咲き出したり、街中で淡いピンクのマグノリアの花を見かけたりと、春の訪れを少しずつ感じる季節となりました。

先日のオープン参観デーには、多くの保護者の皆様にご来校いただきまして、本当にありがとうございました。2学期が始まって2週間ほどが経ち、子供たちの学びも深まってきた頃でしたので、それぞれの学年や教科で子供たちの頑張る姿をたくさん見ることができたと思います。お天気が良くなって、持久走に一生懸命取り組む子供たちを見ていただけなかったのが残念でしたが、きっとお家でもさまざまな場面での子供たちの頑張りがキラリと輝く瞬間を、認めてほめてくださったことと思っています。

何かに挑戦した時に、それを認めてほめてもらったり励ましてもらったりすることは、子供たちの成長に大きな良い影響を与えます。ドロシー・ロー・ノルト博士の著書「子供が育つ魔法の言葉」の中に、「誉めてあげれば、子供は明るい子に育つ」「認めてあげれば、子供は自分が好きになる」「見つめてあげれば、子供は頑張り屋になる」という言葉がありますが、学校生活の中で、子供たちを見ていてもその通りだと感じる場面がたくさんあります。学校でもご家庭でも、子供たちの可能性をひき出すきっかけを、たくさん作ってあげることができればと願っています。

今月から2学期終わりにかけては、交流学习や校外学習、メル校デーなど多くの行事があります。その一つ一つが子供たちの経験となり、子供たちの未来をつくる土台の一つになることと信じています。これからもご家庭でのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。校長 小橋 幸代

子供が育つ魔法の言葉

『子は親の鏡』

けなされて育つと、子供は、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子供は、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子供も不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子供は、みじめな気持ちになる

子供を馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる

親が他人を羨んでばかりいると、子供も人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子供は「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子供は、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子供は、明るい子に育つ

愛してあげれば、子供は、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子供は、自分が好きになる

見つめてあげれば、子供は、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子供は、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子供は、正直であることの大切さを知る

子供に公平であれば、子供は、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子供は、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子供は、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、子供は、この世の中はいいところだと思えるようになる

© ドロシー・ロー・ノルト レイチャル・ハリス 石井 千春

※教師である私はこの詩を読む時に、「親」を「教師」や「周りの大人」に、「家庭」を「教室」や「学校」に置き換えて、よく読んでいます。

【8月5日 オープン参観デー】

P・G1・G2 体育



G3・G4 EAL



G5 算数



G6 社会



G7 国語



G8 数学



P 生活



G1 算数



G2 生活



G3・G4 体育



中休み



G5・G6 EAL



G7・G8 音楽



G8 英語



【8月3日全校朝会・4日 JSM 集会】

全校朝会では「おいしいお米をつくりたい!」という本の紹介をしました。同じ年代の子供の米作り奮闘記、ぜひ読んでほしい一冊です。

JSM 集会では児童生徒会長の「皆さん元気ですか?私は快調です!」の楽しい一言から始まり、各委員会のお知らせ・ラジオ体操・ウエルカム&さよならインタビューと続けました。最後に全員で「僕らの物語」を歌い、とても感動的な時間となりました。



【8月3日 G1・ふゆみつけ】



G1は生活科の学習で、冬をみつけに Princes Park に行きました。「葉っぱがなくなっている」「落ち葉が茶色になっている」などと、秋との違いを見つけたり、土の中や落ち葉の下に隠れている虫を見つけたりしました。

【8月7日 G2・まちたんけん】

G2は生活科の学習で、学校の近くにどんなお店や施設があるのかを歩いて探検しました。地図を片手に通りの名前を確認しながら、近くの図書館・警察署・カフェ・スーパーなどを見て回りました。英語でのインタビューにも挑戦し、たくさん新しいことを知ることができました。



メル校は「子供たちの未来を創る」ことをめざした教育活動を日々行っています。特にこれからの国際社会を生き抜くために必要なコミュニケーション力を身に付ける英語教育や、現地校との交流学习などを通じた国際理解教育に力を入れてきています。子供は人との関りの中で、大きく成長します。そこで本年度はさらに、子供たちの英語によるコミュニケーション力を向上させたり、国際的な視野を広げたりすることを目指して、一年を通して現地校との交流学习の機会をできる限り多く取っていきとしています。

6月には小学部全員がMurrumbidgee Primary Schoolを訪問し、各クラスに入って交流学习を行いました。また近くのCaulfield Primary Schoolの3・4年生が来校してG3・4の子供たちと交流しました。次回はメル校のG3・4が訪問する予定です。それぞれの交流を子供たちはめあてをもって取り組んでいます。日本ではなかなかできないような貴重な経験を通して、多くの学びや達成感を得ています。今回は7・8月に行った交流学习の様子をご紹介します。

【7月28日 G5678 現地校とのオンラインによる交流学习】

G5・6・7・8は、Caroline Chisholm Catholic College とのオンラインによる交流学习を行いました。初めは緊張した面持ちだった子供たち、画面越しの出会いでしたが、自己紹介をするなど楽しい時間を過ごしました。今後は手紙のやり取りをした後、実際に対面での交流の機会をもつ予定です。



【8月6日 G456 現地校との交流学习】

G4・5・6は、Sydenham Primary School との交流学习を行いました。昨年度も交流した学校です。今回はここで日本語を学ぶクラスに入らせていただき、パティの子供たちと授業や遊びを通して交流を行いました。「めちゃくちゃ楽しかった〜！」と帰校した子供たちが口々に感想を言い合うほど、充実した時間を過ごせました。



【8月7日 中学部 現地校との交流学习】

中学部は、Alia college との交流学习を行いました。長年交流を続けている学校です。生徒たちは相手校の生徒と一緒にピンゴゲームやジェスチャーゲームなどのアクティビティを楽しみながら、英語や身振り手振りを使って積極的に交流していました。相手校の生徒は、私たちのためにいろいろなアクティビティを用意してくれました。はじめは、メル校の生徒も緊張していましたが、すぐに打ち解け合い、英語で質問したり、日本語を教えたりと会話が進みました。さすが、メル校生です！昼休みには本校の生徒全員と一緒にサッカーを行い、試合もとても白熱したものとなりました。アクティビティやスポーツを通して交流を深め、笑顔あふれる充実した時間を過ごすことができました。

